

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

放送業務委員会（第9回）議事概要

日時：平成25年4月3日（水）14:00～15:30

場所：総務省 8階 第4特別会議室

出席者（順不同）：

都竹主査（名城大学）

伊丹主査代理（東京理科大学）

石田専門委員（日本テレビ）、大寺専門委員（民放連）、川口専門委員（テレビ朝日）、岸田専門委員（フジテレビ）、下地専門委員（パナソニック）、豊中専門委員（TBS）、西田専門委員（NHK 技研）、松井専門委員（電波産業会）、三木専門委員（三菱電機）、山内専門委員（NHK 技研）

ITU-R SG6 会合出席者（順不同）：

井上氏（フジテレビ）、久代氏（NHK）、古田氏（NHK 技研）、実井氏（NHK 技研）

事務局（順不同）：

総務省 情報流通行政局 放送技術課

久恒 技術企画官、宮澤 課長補佐、林 国際係長、山内 国際係

配付資料：

- 資料 放-9-1 : 放送業務委員会（第8回）議事概要（案）
- 資料 放-9-2 : 2013年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要
- 資料 放-9-3 : 放送業務 WG における検討結果
- 資料 放-9-4 : 外国寄与文書審議表（案）一覧
- 資料 放-9-5 : 日本寄与文書（案）一覧
- 資料 放-9-6 : ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）
- 資料 放-9-7 : 今後の検討スケジュール（案）
- 参考資料 1 : 2012年 SG6 秋会合後に策定された勧告等
- 参考資料 2 : 放送業務委員会構成員名簿

議事概要

1. 都竹主査就任挨拶

事務局より、都竹氏が放送業務委員会主査として ITU 部会長から指名された旨報告があり、都竹氏から就任の挨拶があった。

2. 新任専門委員の紹介

事務局より、伊丹氏が新たに放送業務委員会の専門委員となり、放送業務委員会主査から主査代理として指名された旨報告があった。

3. 配付資料の確認

事務局から配付資料の確認を行った。

4. 前回議事概要の確認

資料 放-9-1「放送業務委員会（第8回）議事概要（案）」について、修正意見等は別途事務局へ連絡することになった。

5. 2013年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要について

資料 放-9-2「2013年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要」に基づき、事務局から説明がなされた。

6. 放送業務 WG の検討結果について

資料 放-9-3「放送業務 WG における検討結果」に基づき説明がなされた。

7. 外国寄与文書への対処について

資料 放-9-4「外国寄与文書審議表（案）一覧」に基づき説明がなされた。

8. 日本寄与文書について

資料 放-9-5「日本寄与文書（案）一覧」に基づき説明がなされた。

質疑等は以下の通り。

8.1. 日本寄与文書 A6「レポート ITU-R BT.2247-1（地デジと IMT の共用検討）の改訂

提案」について

- ガードバンド 8MHz についての記載があるが、これはフィルター等多くの対処を行うことを考慮した数値だと理解しているが、よろしいか。
- その通り。ガードバンドを 8MHz とするためにはフィルター等の対策が必要な事を寄書にも記載しているが、現地でも適切にフォローする。

8.2. 日本寄与文書 B2「放送・通信連携システムに関する新レポート草案に向けた作業文書の改訂提案」について

- ハイブリッド放送は IBB という名前になったのか。
- ITU-T SG9 で IBB という名前が定義され、SG6 でも検討の結果 IBB という名前を用いることになった。国内ではハイブリッド放送と呼ばれている。今回提案する日本の方式はハイブリッドキャストという名前になっている。

9. ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針について

資料 放-9-6「ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）」に基づき、事務局から説明がなされた。

10. 今後のスケジュールについて

資料 放-9-7「今後の検討スケジュール（案）」に基づき、事務局から説明がなされた。

次回放送業務委員会（第 10 回）は 6 月中に開催予定。

以上